



石造十三重層塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうじゅうさんじゅうそうとう
所在地	赤磐市石蓮寺
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	相輪のみ後補であるが、鎌倉時代中期を下らない頃の製作と推定される。花崗岩製。総高6.54m。基礎は低く四方を割石で補強している。初重軸部に舟形を彫込み、その内に東面阿闍、南面宝生、西面阿弥陀、北面不空成就の金剛界四仏を半肉彫し、線刻の蓮華座に座している。各重の軒は厚く両端は力強く反っている。江戸時代前期に廃寺となった石蓮寺跡に遺された石塔で、県下の多層石塔の中でも代表的なもの。
アクセス方法	JR熊山駅から車で約20分 石蓮寺みんなの森内
公開状況	外観のみ
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	